

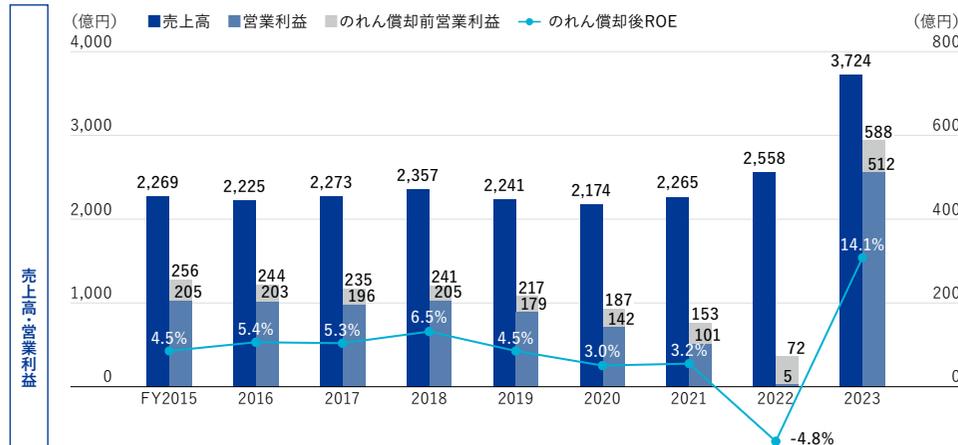
# 2023中期経営計画の振り返り

「2023中期経営計画」では、「長期ビジョン2028」の実現に向けた第2ステップとして2021年4月から2024年3月までの3ヶ年で、通貨流通や決済を支えるコア事業と、新たな分野で取り組む新領域事業を両輪としたクロス成長を目指し事業を推進してきました。

## 財務目標と実績

- 新型コロナウイルス感染症の蔓延、半導体を中心とした部品入手難および部材価格高騰等により利益が大きく落ち込み、2023年3月期には上場以来初の最終赤字
- 2024年3月期には、新紙幣発行による需要の増加などもありV字回復を遂げ、売上高、営業利益、ROEにおいて目標を達成し過去最高を更新

2023年度実績		2023年度目標		2022年度実績		2022年度目標	
売上高	実績 3,724億円	目標 3,000億円	のれん償却後	実績 512億円	のれん償却後	目標 300億円	のれん償却前
新領域事業売上高	実績 360億円	目標 400億円	のれん償却前	実績 588億円	のれん償却前	目標 350億円	のれん償却前
営業利益			実績	14.1%	目標	9.5%	のれん償却前
ROE			実績	17.7%	目標	12.0%	のれん償却前



非財務目標と実績は、「P48. 主要非財務ハイライト」を参照ください。

## 基本方針① 次世代を切り拓く事業開発の加速

- 飲食・リテール・金融の3市場を中心に戦略投資、業務提携を実施  
コア事業の顧客チャネルが活用できる領域で事業開発を加速
- 新領域事業売上高は未達となったが、有望な新事業としてAcrelecを中心としたキオスク関連事業及びDMP\*事業を発掘

\*DMP(データ・マネジメント・プラットフォーム)とは、収集し蓄積されたオンラインデータや、リアル店舗に来店された消費者の行動履歴等のオフラインデータを管理し、広告配信のアクションプラン等に役立てるデータビジネスを行うプラットフォームのこと



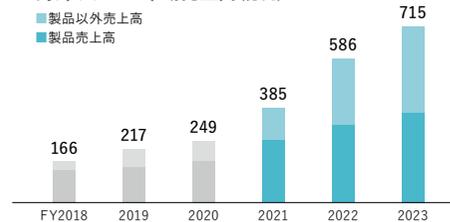
## 新領域事業売上高 2023年度



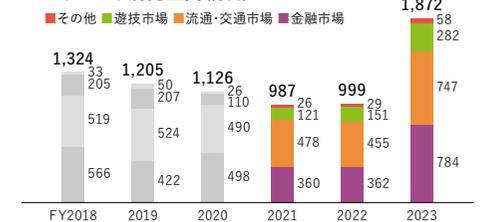
## 基本方針② コア事業の革新による収益の最大化

- 海外事業** 省人化ニーズを捉えグローバルトップリテラーとの契約を獲得するなどリテール市場が拡大
- 国内事業** 2023年度は新紙幣対応と遊技事業が収益に大きく貢献し売上高は過去最高

### 海外リテール市場売上高(億円)



### セグメント別売上高(億円)



## 成果と課題及び次の2026中期経営計画で取り組む方針

